

## 日本での交換留学

政治大学

陳佳琳

### 【お茶大の雰囲気について】

今学期は新型コロナウイルスの原因で、日本に入国することができませんでした。台湾でオンライン授業を受けていました。オンライン授業のため、授業では先生から名指して質問されることや、コメントを要求されることが多くなったではないか、授業の雰囲気が台湾の大学と全然違います。日本の大学の筆記試験は少ないですが、発表がたくさんあります。最初は驚きました。そのほか、授業でのディスカッションもたくさんあります。台湾の大学もディスカッションがありますが、一般的に、最も年上の方が自ら責任を持って、リーダーになります。しかし、お茶大の授業ではグループのメンバーが年齢を問わず、みんなが積極的に自分の意見を言い出します。4年生の私として、そのような雰囲気が好きです。

今学期最も印象残ったのは、日本人のクラスメートです。私が思った日本の女性のイメージは、「静か」、「意見が出て来ない」など、ちょっと内向性の感じてました。それに対し、お茶大生が自分の意見を共有して、授業での発言も他のグループに対するコメントも、たくさん素晴らしい意見を授業で聞かせて、大変勉強になりました。

### 【授業について】

私が最も好きな授業は加藤先生の中上級会話です。なぜかと言うと、私は日本語を話すことが怖いと思いました。この授業は毎週ミニ発表がありますが、テーマが自分の国の文化に関するテーマで、短い発表なので、負担がそれほど大きくなく、クラスメートの国の文化を理解する機会となります。その他、先生は時々学生たちを褒めます。自分の発表がまだまだのものだとわかりますが、先生の褒め言葉が私に自信をつけさせました。

### 【生活について】

日本に入国できなかったことで、最も大変なのは、日常会話を練習するチャンスがなくなったことです。しかし、西坂先生のおかげで、言語交換の仲間を見つけました。言語交換は日本人の仲間と一緒に勉強することより、友達になって話し合うことで

す。色々な日本の有名スポットや若者の流行を教えてくださいました。オンライン授業を受けながらも、友達を作ることができて、ありがたいです。

### 【感謝の気持ち】

今学期は桜井先生の日本事情演習4を受講しました。この授業は日本人の学生と一緒に受ける授業です。母語者の話すスピードは私にとってちょっと早いので、聞き取れなかったところが多いです。そのため、グループのメンバーに迷惑をかけました。しかし、みんなは親切に説明してくれました。すごく感謝しています。

そして、私の日本語能力が低いので、授業で自分の考えをはっきり説明できなかったことがたくさんありましたが、先生たちが優しく待って下さいました。誠にありがとうございました。

最後は、指導教員の森山先生に感謝を表したいと思います。毎月先生が私の振り返りシートを読んでくださって、たくさんアドバイスをして下さいました。一学期間入国できませんでしたが、先生方に大変お世話になりました。心から感謝の気持ちを申し上げます。